



びぶいお定期便



季節はすっかり秋。あっという間に次のテストが迫ってきました。今回「学習の日」の期間は11月18日～11月29日までとなっています。長時間席を立つときはカウンターで離席カードをもらってくださいね。また、11月11日から司書おすすめの本を作者やタイトルを隠して貸し出す「えなと(恵那市中央図書館の略)バック」が始まります。何が入っているかはお楽しみ。職場体験の中学生が選んだ本もありまよ。

恵那市中央図書館 ジュニアコーナー 10月の新着本紹介

書名	著者名	出版者	請求記号
13歳からの「学問のすすめ」	福澤諭吉/著	筑摩書房	002/7/
歯科衛生士の一日	WILL こども知育研究所/編著	保育社	K498/ウ/
マツリカ・マトリヨシカ	相沢沙呼/著	KADOKAWA	913.6/7/
マーシャの日記	マーシャ・ロリニカイテ/著	新日本出版社	985/ロ/

今月のおすすめ びぶりお本

『もっとやりたい仕事がある!』
池上彰/著・監修 小学館 366.2/シ/
ジュニアコーナー

約750種類の仕事を紹介した職業案内本。仕事内容から必要な資格まで知りたいポイントがコンパクトにまとめられています。各章のコラム、池上彰さんの「仕事に関する旬な話題」は必見!ユーチューバーやドローン操縦士など、最新の職業が載っているところも見所です。「進路が決まらない」「やりたい仕事が見つからない」そんな悩みを抱えた人におすすめです。

今月のイチオシ!

恵那高等学校

恵那高校図書委員会では「より多くの生徒に読書に親しんでもらいたい」「読書の楽しさを知ってもらいたい」という思いから、恵那高校の先生方の推薦図書を集めて、「図書風景」という冊子を作成しました。先生方の「この本をぜひ読んでほしい」という熱い思いが込められています。そんな先生方の思いを受け取ってもらうために、館内に「先生たちの推薦図書コーナー」を設置しました。これらの本を読むことで、本への親しみを深めてもらえればと思います。ぜひこの機会にお気に入りの一冊を見つけてみてください。



恵那農業高等学校

秋にはいろいろな行事が予定されていますが、今年一番の重要な行事である「恵那農高創立50周年・西苑会75周年」記念祝賀式典が、先日10月14日、恵那文化センターで、多くの農高ゆかりの先生方・卒業生をお迎えして盛大に執り行われ、今後のますますの発展を祈りつつ無事終了しました。また11月23日には恒例の「農高祭」が行われます。こちらにはぜひお越しください。

オススメの一冊
「レインツリーの国」 有川浩著 新潮社

この物語は、「図書館戦争」シリーズの中の一つ「図書館内乱」に出てきた話を書籍化したものです。主人公はネットで知り合ったひとみと恋に落ちるが、直接会うことをずっと拒んでいる。やっとの思いで会うことができたのだが、彼女には隠している秘密があった。読んでみると、大切な人が頭に浮かんでくる、そんな本です。読み終わった後でも、もう一回読み返したくなるオススメの本なので、ぜひ読んでみてください。

食品科学科 2年 遠山瑞稀

恵那特別支援学校

10月4日(水)から6日(金)までの三日間、中学部では、作業学習集中期間として、一日中作業学習に取り組みました。中学部の作業学習は、三つの班に分かれており、紙工班ではマグネットやメッセージカード、陶芸班ではお皿やランプシェード、クラフト班では巾着袋やコースター等の作品づくりを行いました。作業学習集中期間が初めての一年生は、二日目と三日目はかなり疲れがたまりながらも集中して頑張る姿が見られました。また、上級生は普段よりも真剣な表情が見られました。今後もこの学習を活かし、社会で働く力を身に付けていきたいと思ひます。

11月10日(金)、11日(土)には、「知新祭(学校祭)」を行います。ステージ発表や作品展示、作業作品の販売体験を行いますので、お時間がありましたら、是非ご来校ください。

中学部作業学習の様子



<陶芸班>
土を締めて空気を出し、焼いたときにお皿が割れないようにしています。



<紙工班>
紙をすいて、ローラーで伸ばしながら形を整えています。

